

この勝れた環境を

更に雄飛する礎に

人は誰れも、良い住宅に住み、健康な明かるい家庭生活を望んでいます。次第に住宅産業が、産業の表面に浮かび上がり、公害問題が強く取上げられるようになり、また、産業の発達による成果として、生活環境の優良化を望む現われです。

一日の貴重な八時間を、工場に作業場に過ぐす私達としても、この仕事時間の環境を良くしたいのは、皆の願いです。「明かるい職場、健康的な工場」等の言葉が、いつもいわれています。明かるい職場は、人々の和と協力で希望等から生まれてきますが、工場環境の力も無視することは出来ません。

瀬戸工場は、敷地が限られていたために、発展してゆくに伴い、心ならずも次第に緑地や運動場などを失くし、社内の卓球場な

ども、余裕が無くなってしまいました。幸にも瀬戸跡が残っていたのが、唯一の救いとなっていました。

新しい土地に理想的な工場を作りたい、希望の持てる職場を作りたいとの、皆の願いと努力が実って、この名古屋工場となったのです。現在員の半数以上は、当時から社員で、この建設の努力に直接間接に参加し、落成に希望を以て見守って来た人達です。ここにおいて、本社は一つのポイントに達したことになり、皆さんと共にこの喜びを分かちたいと思います。

建設について詳細に申しますと、丁度東京オリンピック開催を準備中の頃(六年前)、用地契約に着手して、二年間苦心を重ねて完了し、一九六六年九月地鎮祭と同時に整地着工、毎年のように建設を続け、第三期

が本年五月末竣工しました。敷地は約六・

六ヘクタール(二万坪)、敷地内に二山二谷があり、横断など出来ない高低の多い処でした。現在のように自動車で気持ちよく走り回れるなど、当時からまるで夢のようです。当時計画は立てたものの、一寸行過ぎた計画といわれる程で、何年で出来るかなどは予想もつかず、広い敷地に、広々とした工場、道路、緑に恵まれた公園工場を作りたいという、文字通りの夢の工場でした。幸にも、これが四年のうちに竣工して、本社を移転しました。この間、名古屋工場に併行して、日東スイッチ株式会社の独立があり、全国に六営業所の新設が行なわれています。

このポイントに達することができたことは、社内には、社員一同のたゆまぬ一致協



取締役社長

加藤陽一

力、努力の結果であり、社外からは、会社を信頼しての各政府機関、金融関係、販売得意先、各協力工場、その他一般の御援助、御協力の賜であり、感謝に耐えない処です。今後も益々勝れた立地条件を活用して、名古屋工場の効率を上げると共に、環境を更に良くして、工場内は、整備の進んだ優秀設備を以てし、外に出れば、緑の多い広々とした風景を楽しむ良い生活環境を作りたいと存じます。

なお、これに私共全員が、この優れた条件を生かして、益々研究、生産、販売に努力を重ねて、他日更に雄飛する礎としたいと思ひます。

今後はこの工場を、社内の若い新人諸君が伸びてゆくための礎石として、生かしてゆきたいと思うものです。